【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2010-245392(P2010-245392A)
【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2010-043
【出願番号】特願2009-94068(P2009-94068)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｆ　1/053　(2006.01)
Ｈ０１Ｆ　1/08　(2006.01)
Ｈ０１Ｆ　41/02　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　38/00　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　33/02　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　1/00　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　3/00　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　3/02　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　3/24　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　3/10　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　28/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｆ　1/04　Ｈ
Ｈ０１Ｆ　1/08　Ｂ
Ｈ０１Ｆ　41/02　Ｇ
Ｃ２２Ｃ　38/00　３０３Ｄ
Ｃ２２Ｃ　38/00　３０４
Ｃ２２Ｃ　33/02　Ｋ
Ｂ２２Ｆ　1/00　Ｙ
Ｂ２２Ｆ　3/00　Ｆ
Ｂ２２Ｆ　3/02　Ｒ
Ｂ２２Ｆ　3/24　Ｋ
Ｂ２２Ｆ　3/10　１０１
Ｃ２２Ｃ　28/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月12日(2012.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
これによれば、従来品では、結晶粒界に主相のネオジウム濃度より高い濃度のＮｄリッチ相を有することが確認でき（図４（ａ）参照）、真空蒸気処理を施す前の二次焼結体Ｓ２が略同等の組成を有するものと推測される。それに対しては、発明品では、結晶粒界に、主相よりＮｄ濃度が低いが、Ｄｙが富化された相が存在し、また、Ｄｙ原子が磁石の結晶粒界及び／または結晶粒界相に磁石表面からその中心に向かって含有濃度が薄くなる分布を持って均一に拡散していることが確認された（図４（ａ）、図５（ｆ）及び図６参照）。